

てんり市議会だより

今回の定例会

まほろば



2016年9月1日号 No.77 6月定例会の内容をお伝えします。

※題字については、第58回天理市展において議会議長賞を受賞された西田理恵さんにお書きいただきました。



姉妹都市瑞山市
中学生派遣事業出発式



去る8月1日、平成28年度 姉妹都市中学生派遣事業 出発式が行われ、韓国の瑞山市へ派遣される8名の中学生に向け、議長より激励の言葉が贈られました。



CONTENTS

TOPIX ～特集～	2
こんなことを話し合いました	3
こんなことを質問しました	8
こんなことが決まりました	12

TOPIX

特 集

天理の
まちづくり

聞かせて！市民の声 活かします！市政に

第8回 議会報告会



今年も、議員全員の参画により議会報告会を開催します。市民のみなさまに市議会の活動を知っていただくとともに、市民のみなさまのご意見を市政に反映させる場です。今年は一か所で行いますが、みなさまの貴重なご意見を聞かせていただきたいと考えております。

議会も提案します。みんなで住み良い街をつくっていきましょう。

お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

**私たちは
めざします**

開かれた議会
討論する議会
衆知を集める議会
行動する議会

◇内容

・1年間の議決報告について

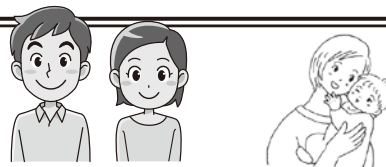
◇各常任委員会のテーマ

・文教厚生委員会

「子どもたちに対して学力向上へのよりよい教育環境づくり」

・経済産業委員会「新クリーンセンター」について」

・総務財政委員会「安全・安心の街づくり」



11月27日(日)

午後1時30分受付

午後2時 開会

4時 終了

場所：天理市役所 5階533会議室

平成28年6月定例会

こんなことを話し合いました

開会日(6月10日)
市長提案

●会期の決定

会期を6月27日までの18日間と決定しました。

●表彰状の伝達

全国市議会議長会において、25年以上の在職議員として、佐々岡典雅議員が表彰されたので、表彰状及び記念品の伝達を行いました。

●監査報告

監査委員より5件の監査報告がありました。

●報告

報告5件が上程され、原案どおり了承しました。

●提案説明

今議会に提出された4議案について、市長より提案説明が行われました。

再開日(6月14日)
委員会付託

●委員会付託

上程された4議案のうち、1議案を文教厚生委員会に、3議案を総務財政委員会に付託して審査することとなりました。

●文教厚生委員会

・印鑑条例及び手数料条例の一部改正

●総務財政委員会

・一般会計補正予算
・市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正
・財産の無償貸付け

※委員会審査の概要については、4～7Pに掲載しています。

再開日(6月21・22日)
一般質問

●一般質問

・加藤嘉久次 議員
・荻原 文明 議員
・今西 康世 議員
・仲西 敏 議員
・鳥山 淳一 議員
・寺井 正則 議員
・三橋 保長 議員
・市本 貴志 議員

※8～12Pに要旨を掲載しています。



最終日(6月24日)
採決

●人事案件

人権擁護委員の推薦の諮問案、天理市公平委員会の委員及び天理市固定資産評価審査委員会の委員の選任の同意案が上程され、それぞれ原案どおり承認及び同意しました。

●委員長報告

所管委員会に付託されていた4議案について、各委員長より、審査の経過並びに結果の報告がありました。

●採決

4議案について、いずれも原案どおり可決しました。

●意見書

意見書2件について、提案者の説明後、原案どおり可決しました。

※議決結果については、12Pに掲載しています。

文教厚生委員会

6月15日

付託議案の審査概要

印鑑条例及び手数料条例の一部改正について

個人番号カードを利用してコンビニエンスストアに設置の多機能端末機で、住民票の写し及び印鑑登録証明書を交付するコンビニ交付を本年8月1日から開始するにあたり、印鑑登録証明書の発行手続きに係る規定を追加するため、また、住民票の写し等の発行手数料を、庁内に設置の自動交付機の交付手数料と同額の250円に設定するために、条例の一部を改正しようとするもの。

意見・要望事項

・コンビニ交付の利用者が増えるよう個人番号カードの普及に努めるとともに、制度の周知を図るよう要望。

その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても、質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

●今西委員長

Q 65歳以上の介護保険料の滞納処分を受けたのは、天理市では237人。25～27年度の未収入額は各1千万円。今後金額も上がり徴収しにくくなるが。

A 督促状や催告状を送る。電話での催促、自宅訪問。滞納すると介護保険は3割負担になり、本人に不利益が生じる。財産のある人は差し押さえ等で今後対応していく。(健康福祉部次長)

Q LGBTへのセクハラについて、天理市の対応は。

A LGBTは性的少数者の総称。本市も啓発活動や図書貸し出し等、来館者の意識拡大に取り組む。(男女共同参画課長)

Q メディカルセンター3階の診察室の音が外へ丸聞こえで患者のプライバシーが守られていない。また待合にテレビを置くこと聴覚検査の妨げになる等、建築の不具合があるのではないか。1階のトイレには検尿を出す窓がなくて困る。早急に解決を。

A 壁面の材質は建築基準法や消防法上問題はない。人的対応として、検査結果を声に出さず書面で伝え、第3者にわからないよう対応。また、聴覚検査から離れた待合室の広い所にテレビを設置する予定。状況を注視し配慮する。1階で採尿するときは多目的トイレを利用していただく。(健康福祉部長)

A 指定管理者と協議しながら検証していく。(副市長)

●内田副委員長

Q 図書館1階南側及び天理駅前

A 駅前は1日平均30～40冊、図書館南側は毎朝100冊前後の返却がある。(図書館長)

Q 現在子どもの本離れが多いと聞くが、祝日も開館して本に触れる時間を増やしてほしい。

A 祝日開館には、職員体制の充実と管理上の安全面の問題解決が必要。今後人と施設環境が整うよう検討する。(図書館長)

●飯田委員

Q 公民館の夜間安全防犯対策について、28年3月委員会では検討するということだったが、統一

された見解は決まったのか。
A 検討している最中で統一見解はまだでない。

Q 市長は、機本新公民館をトレイルセンターの北の基地にしたいと話されているが、現在の公民館の内規にそぐわない点があると思う。検討されているのか。

A 公民館に新しい機能を持たすため、内規について、社会教育法の規定に抵触しないように検討している。(生涯学習課長)

Q 機本公民館の跡地利用についても検討すると言っていたが。

A 教育委員会全体としての方向性となる。こども園にする等、複合的な要因が絡んでいるので、方針が固まっていない。引き続き検討中。(生涯学習課長)

●堀田委員

Q 児童、生徒のスマホ使用の現状と指導内容について。

A 全国的に見ると所持率は高いほう。「スマホ・ケータイ」出前啓発講習会を開催し、警察と連携のもと具体的に学ぶ機会を設けたら、「てんりスマホサミット」でのルール作りを計画している。保護者対象の講習会も各学校単位で

継続して実施。(学校教育課長)

Q 「スクールカウンセラー」派遣事業実施の内容について。

A 中学校においてはすでに実施していたが、今年度から小学校の巡回相談事業を開始する。教育相談体制の一層の充実強化と、ケア・スカンファレンス機能を高め、関係機関との連携を図っていききたい。児童、生徒や保護者、先生との多様な問題解決に向け対応していきたい。(学校教育課長)

Q 「スクールソーシャルワーカー」の拡大について。

A 福祉機関との繋がりがあり、非常に重要な役割で評判が良い。生活面の援助、支援等ソーシャルワーカーの配置については十分な配慮が必要で、調査研究の段階ではあるが、可能性についても研究し検討していきたい。(学校教育課長)

●荻原委員

Q 学校・園のエアコン設置の今後の見通しはどうか。

A 普通教室のエアコン設置の課題は財源の確保。今後リース方法等を調査研究したい。(教委事務局次長・教育総務課長)

Q 30人学級の実施について。

A 今後もきめ細やかな指導の充実のために30人学級拡充を国・県に要望をしたい。(学校教育課長)

Q 近代遺産、戦争遺跡の調査保存と歴史文化基本構想作成について。

A 近代遺産は徐々に調べを進めたい。基本構想作成には充実した構想計画が必要で、調査中である。(文化財課長)



経済産業委員会

6月16日

詳細は

天理市の
ホームページ

天理市議会

会議録の検索と閲覧

よりご覧ください



請がある。

(産業振興課付課長)

Q 産業振興館の利用状況は、テレワークは、3カ月間で32人が利用。

(産業振興課長補佐)

Q 光の祭典についての状況は。

A 光の祭典は市商工会青年部が中心に、天理の冬の風物詩として長年取り組んでいる。今年度は西ゾーンの田井庄池公園で行う。

(産業振興課長補佐)

Q 天理駅前整備のオープン後、維持管理が課題になる。

A 駅前広場完成後、施設の維持管理は、適正価格を議論している。一定その額が出てきたら、議会と相談。運営も、市民の関わり方も含め議論しており、明確化したら説明する。

(副市長)

Q 小田中町の市道は車が高速で通り抜け危険。地元から安全対策の強い要望がある。

A 市道の豊田喜殿町線は交通量が多いが道路が細く、転落防止柵も必要。市道の南側の珊瑚珠川は県の管理で奈良土木と打ち合わせし、設置可能か検討。田樺本線の交差点の信号要望は、今後、地域安全課と協議し公安に要望する。

(建設部長)

その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても、質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

●東田副委員長

Q 昨年の12月議会の経済産業委員会です市内における1級河川内での堆積物や雑草の処理について、県から新年度予算をとってできる所からやっていくという報告を受けているが、県から何らかの連絡があったのか。

A 昨年の堆積土砂のことで、県の方にその時点で報告させていただいております。堆積状況については、県の方でも十分考慮していただいているというのを聞いています。今年度の事業を執行していく上で、昨年報告した中身を踏まえた堆積土砂の除去をしていくという報告を県から聞いている。(建設部長)

Q 山の辺第1工区の北大路からの南北線の2カ所に、ガイドレールで通行困難な状況があると聞いている。早急に舗装道路を完成し、市道認定をしていただきたい。

A 山の辺第1工区の都市計画道路で、一部舗装できていない箇所が残っている。舗装に関しては、28年度の予算で、秋頃に予定している。

(まちづくり事業課付課長)

●廣井委員

Q 天理駅前広場総合計画の中で、観光物産センターの完成が非常に遅れているが、27年度内にできなかった理由と、完成はいつ頃になるのか。

A 天理駅団体待合所の借り受けは、現在天理教、JRとで年度内には完成を目指し、協議中。

(まちづくり事業課長)

Q 新ゴミ処理施設に関し、土地の借り入れ契約等について、山辺・県北西部広域環境衛生組合が設立され、事業進

行している中、地権者天理教との土地借り入れ条件等の契約について。

A 焼却施設の建設予定地は天理教の所有地で定期借地50年間であるが、施設の稼働準備に7年間ほど必要であり、トータル60年の契約で協議中で、その後更地で返却という条件。

(山辺・県北西部広域環境衛生組合事務局次長)

Q 粗大、リサイクル施設の地権者との契約はいつからで、地代はいつからか。

A 地権者との契約は今年4月に行い、県条例の環境影響評価が4年間必要で、本年から土地賃料が発生しており、焼却処理施設完成までは10市町村の焼却ごみ量に応じ、分担で地代分等を支払う形。(山辺・県北西部広域環境衛生組合事務局次長)

●中西委員

Q シャープの撤退に伴い、大幅な水道料金の歳入減にな

るが、今後の水道局の運営、対策等はどのように考えているのか。

A 具体的な数字は把握していないが、約4億円の歳入減になりそう。それに対して様々な経費の削減や県営水道の受水量の抑制等に努力していきたいと考える。

(上下水道局次長)

●仲西委員

Q 6次産業立地推進業務委託事業について。

A 27年度に3カ所のエリアに絞り込み、広さは約20〜約60ヘクタール。28年度以降は地元に着目確認し、今後、基本計画で事業化できるのか検討する。(産業振興課付課長)

Q 企業立地の取組み状況は。

A 27年1月、工場等誘致として「天理市企業立地支援条例」を改正し、三甲株式会社を増設が対象になり、さらに自動車運送業の2業者から申

総務財政委員会

6月17日

付託議案の審査概要

平成28年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5735万2千円を追加。

○歳出の主な内容

- ・富室町の実施する公共事業に対しての補助金
- ・小路町自治会が、自治総合センターから補助を受けて行う自治会集会所の新築工事及び備品整備事業に対する補助金
- ・マイナンバー制度に基づく個人番号カード等交付関係経費
- ・既存の介護施設に火災報知機やスプリンクラーを設置する事業に対する補助金、B型肝炎ワクチンの定期接種に伴う必要経費

等

○歳入の主な内容

- ・国庫補助金
- ・繰越金

等

意見・要望事項

- ・コンビニエンスストアにて住民票の写しや印鑑登録証明書を取得できるようになることについて、市民にとってわかりやすい説明に努めること、及び個人番号カードの活用について、天理市独自の工夫をすること、並びに個人番号カードを取得する利点を広く周知すること、個人番号カードの申請件数の増加を図るよう要望。

詳細は

天理市のホームページ



天理市議会



会議録の検索と閲覧

よりご覧ください

市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正について

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙運動用自動車の使用等の公営に要する経費に係る限度額が引き上げられたことを受け、それを運用する3条例について、所要の改正をしようとするもの。

財産の無償貸付けについて

本案は、平成24年3月に閉園した旧天理市立福祉幼稚園の園舎等について、遊休施設の有効活用を図るため、公共施設としての役割及び機能を保持し、障害者福祉事業を展開しながら、雇用の創出、地域における多世代交流等、地域住民の福祉の向上を目的として、維持管理に係る費用の負担を条件に当該財産を無償貸付けしようとするため、地方自治法第96条第1項第6号の規定に基づき、議会の議決を求めようとするもの。



議会を傍聴しませんか？

本会議、各常任委員会及び議会運営委員会が傍聴できます。

市政への知識を深めることや議会の活動、市の方針などを知ることができますので、傍聴を希望される方は、本会議や委員会当日、本庁舎6階事務局までお越しください。

また、団体での傍聴を希望される方は座席の都合上、事前に事務局へお問合わせください。

なお、本会議のライブ中継及び録画中継は天理市のホームページからご覧いただけますのでご利用ください。

●問い合わせ 議会事務局

63-1001 内線603

その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても、質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

●三橋副委員長

Q ふるさと応援寄附金が、昨年の4月から、いろいろ返礼品を決めて、新しいタイプの制度に変え1年以上経過した。その状況や成果について報告してほしい。

A 寄附金の状況としては、27年度は3千300万円集まった。26年度については150万円、25年度については80万円あまりだった。26年度に比べて20倍以上となる。返礼品については、約40種類ほど、1万円、2万円、3万円それぞれ分けています。特に1万円の部分が多くて、その中でも刀根早生柿、平核無柿が大半を占めている。刀根早生柿710件、平核無柿624件。全体の総数では2580件ほどあり、その中で柿が1300件なので、半分以上という形になっている。また、大和肉鶏が325件、柿の葉ずしが579件となっている。

Q 今後の取り組みについて
(総務部次長)

も、色々なアイデアを出すことが一番大事と思う。それと「古墳めぐりツアー」が、天理ならではの企画であったが成果についてはどうだったのか。

A 今年度は、新たに産品として10種類ほど増やしている。主なものは、手づくりジャムセットや、スタミナラーメン、ブドウ、落雁(らくがん)、酒かすクリームチーズなどで、お米をいま検討中。「古墳ツアー」については昨年16名が関東からもお越しいただいた。今年度もお帰りいただいた。今年度も引き続き、年度末の3月に開催したい。
(総務部次長)

●岡部委員

Q 新聞やテレビの報道を見ると、古い家の一部の部屋(高齢者や病弱の人の部屋)の耐震工事に對して補助金を出すまちがあるようだが、本市の場合はどうか。

A 鉄骨でできたコミュニティの一部の部屋に対する助成はしていないが、家全体の耐震改修に対する補助はある。

Q コミュニティバスの利用に関して、病気で歩きにくい
(防災課長)

人からの要望で、例えば市役所や病院に来て用事を済ませても、少し時間がかかって乗り遅れると、次まで約2時間待たなければならぬので、どうしてもタクシーを利用してしまう。そこで、1日5便でなくて、増便できないか。

A 経費の面もあるので、次の見直しの時に、増便と利便性の向上について検討項目としたい。
(総合政策課長)

●寺井委員

Q 県の取り組みである思いやり駐車場の制度がスタートした。認識を広げて、たとえば、妊婦さんとかも停められるよう増設について提案させていただいたが、その後どのようになっているか。

A 委員から思いやり駐車場の件でご指摘をいただき検討し、6月1日より天理駅前広場自動車駐車場のところに2台の譲り合い駐車区画というのを設けたところ。配慮が必要な方に利用いただける駐車区画という趣旨はよく理解をしております、今後とも鋭意努力をしていきたいと考えている。

Q 天理警察署と天理市役所、天理駅前広場以外に市内全体
(総務部長)

でどこに思いやり駐車場を設置されているのか。

A コンビニ2カ所、添上高校、二階堂高校。
(総務部長)

Q 高齢者のネット被害の対策について、地域の消費者相談体制の強化、警察などとの連携で早期に見つける仕組みづくりなど、どのように取り組んでいるのか。

A 当市においては、詐欺事件の発生等があった場合、メールによって速報させていたでいており、「町から町へ」の地域安全ニュースで天理市全戸に対して広報している。また、高齢者が集まるサロンに行き、被害に遭わないように注意喚起を行っている。今後も警察関係機関と連携して、安全で安心なまちづくり、住みやすい天理市を構築していく。

Q 特殊詐欺全般について、ネットを利用する高齢者に学習機会を設け被害を防ぐことについて、どのように考えているか。
(地域安全課長)

A ネットをお使いいただく上で被害に遭わないために最低限守っていただくことの研修を今年度も行う予定をしております。
(情報政策課長)

要望 高齢者のネット被害対

策について一生懸命取り組んでいただくように要望しておきたい。

●鳥山委員

Q 地震による震災が続き安全安心が見直されているが、高齢者の方が増えていく状況で、避難場所も、できるだけ大きい道に面した近くの大きい場所が望まれますが、避難しやすいという場所の見直しや新たな選定についてどのように考えているか。

A 指定避難所の収容力の不足を補うためには各自自治会の公民館・民間の事業所も含めて天理教の関連施設等との防災協定、また防災協力事業所の登録や、避難所の確保の面からも市としているような面で働きかけを行い、協力が得られるように努力していく。

Q 現在、避難所について、ほとんどの方が知っていると思うが、避難場所等の啓発や情報発信はどのようにされているか。
(総務部長)

A 啓発は、それぞれ防災訓練や防災フェア等いろいろな機会を通じて避難所の周知等もしている。防災のマップ等も配布する予定で広く周知をしていきたい。
(総務部長)



市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。

その主な内容をお伝えします。(8～12P)

こんなことを質問しました

※すべての質問が動画で視聴及び会議録で閲覧できます。

[天理市のホームページ](#)

[天理市議会](#)

[議会中継](#) (動画)・

[会議録の検索と閲覧](#)

一般質問

加藤嘉久次 議員

- ・ゴミ対策の広域化について
- ・迷惑条例について

荻原 文明 議員

- ・交通安全計画について
- ・住宅計画について
- ・自治体公会計の改革について

- ・ファシリティマネジメントの進捗状況について
- ・防災基本計画の見直しについて

- ・男女共同参画行動計画について

今西 康世 議員

- ・国際芸術家村について
- ・人事と就労について
- ・まちづくり計画について

仲西 敏 議員

- ・教育の諸課題について
- ・安全安心なまちづくりについて

- ・新たな『天理市史』の編纂に向けて

鳥山 淳一 議員

- ・市の未来を担う子ども達への教育・福祉施策について

寺井 正則 議員

- ・障がい者差別解消法の運用について
- ・食品ロスの削減について
- ・お薬手帳の電子化（スマートフォンアプリ化）について

三橋 保長 議員

- ・天理市の障がい者福祉について
- ・にぎわいをつくる天理の観光資源の活用について

市本 貴志 議員

- ・市政の取り組みについて

「ゴミ対策の広域化について」

Q 山辺・県北西部広域環境衛生組合（2市7町1村の広域でゴミ問題に取り組んでいく新形態）として広域化をするということは、各自自治体が財政上厳しい状態で問題解決に取り組むよりも、広域で考えることで財政負担を軽減し、よりよい改善策を見つけていくということである。今は各自自治体独自のゴミ分別パンフレットによって「ゴミ収集を行っているが、広域化してゴミ削減に取り組むのであれば、共通の分別パンフレットを作ってはどうか。」

A 新施設の稼働は平成35年度を予定しているが、施設への負荷を軽減し、長寿命化させると共に、維持管理コストを抑えるためにもいま以上の分別が必要。そのためには、天理市に含わせてもらうのではなく、参加市町村が足並みをそろえた可能な限りの分別方法をとることが大事である。分別内容によって、施設設計、建設コスト等も変わるので、できるだけ早い段階から統一した分別体制がとれるよう、現在、広域組合の各市町村担当者レベルで協議しているところである。

（環境経済部長）

「ゴミは無償？有料？」

Q ごみ処理が広域化になり、各自自治体の負担が少なくなったならば、「ゴミは無料でいいか」と考えたが、焼却場ができるまであと10年近く、それから20年後に炉の改修が必要となる。30年先の時点で、本組合の参加市町村の



加藤 嘉久次 議員
(一括質問)

犬のふん対策は

Q 今は犬のふんを持ち帰る人がほとんどであるが、一部のマナーのよくない人たちの行動が多大な迷惑をかけている現実もある。そこで「お願い型」の掲示板から「命令型」の掲示板に変えることを提案したい。今後の犬のふん対策は。

A 登録時には、犬を飼う人のルールやマナーについての啓発文書を配布したり、広報紙やホームページにもマナーを守りましょうという啓発もしている。今後は、犬のふんについても、どのような対策がいいのか、個別の迷惑条例を制定するのか、環境基本計画の中で制定をうたっている（仮天理市きれいなまちづくり条例の中で、一括するのかなどもあわせて協議していく。

（環境経済部長）



(提案例)



荻原 文明 議員
(一括質問)

天理市交通安全計画について

Q 生活道路のゾーン30の拡充と道路標示や区画線のペイントの塗り替えを計画的に進める事についてお尋ねします。

A ゾーン30は井戸堂ブロックをモデル地区として実施予定です。市民生活への影響等課題を抽出、整理し、他の地区への展開も考えたい。道路標示に関しては今後留意していきたい。(市長)

住宅計画について

Q 住宅問題は衣食住の、生活の基幹をなす問題です。住生活計画の作成、若者に対する家賃補助の実施、耐震改修助成を建替えにも適用すること、市営住宅の建替促進、民間住宅ストック活用、リフォーム助成等の実施についてお尋ねします。

A 奈良県住生活基本計画のもとで市民の住生活の確保、向上に取り組んでいる。市民の耐震改修には50万円を限度に補助を実施、離職者等には、住宅確保給付事業を実施、また、民間住宅ストック活用は宅建業者とも議論し検討していきたい。(市長)

防災計画の見直しについて

Q 天理市でも4世紀以降、震度4以上の地震は30回以上起こっています。東日

本大震災では犠牲者の過半数が65歳以上の高齢者が占めていました。避難行動要支援者、個別避難計画作成等を構築しておくことが必要です。福祉避難所の拡充、自主防災組織への継続的な活動支援についてお聞きします。

A 要援護者の支援体制確立のために改めてリストの回収に取り組んでいる。福祉避難所については民間施設との連携、物資の供給運搬等総合的に検討していきたい。(市長)

男女共同参画計画数値目標について

Q 世界経済フォーラムジェンダーギャップ指数で、日本は145カ国の中で101位です。天理市行動計画は、女性管理職を14%から20%、審議会委員の女性比率を18%から30%へ引上げる目標を示しました。諸課題の達成についてお聞きします。

A 女性の管理職登用については、政策立案部門等を経験できる人事配置も行う中で人材育成を行いたい。審議会等への女性委員の登用は、点検評価に基づき積極的な登用を推進していきたい。(市長)

旧天理消防署跡地の売却について

Q 旧天理消防署跡地の売却と商業施設等の設置を公表しました。公有地の管理は公共施設総合管理計画を作成し、本来これに位置付けるものです。利用方法は市民の意見を当然聞くべきです。

A 当該跡地は、今後のまちづくりの推進や中心市街地の活性化に重要な役割を担う位置にある。民間事業者の資本力、企画力等を生かし、新たなにぎわいを創出する商業施設等を誘致する結論に達した。賃貸でなく売却によって事業の継続性、より良い事業者を募集できると認識している。(市長)



今西 康世 議員
(一括質問)

国際芸術家村について

Q 歴史・文化資源活用の先駆的拠点として、本市杣之内町内を候補地とし、文化財修復、人材育成、教育研究施設、レストラン、宿泊施設等の整備を想定されている。基本計画策定後、5年以内の整備完了を目指し、補正予算に事業費6千600万円を計上。進捗状況と今後の進み方は。

A 昨年6月有識者による構想検討委員会を開催。県では国際会議等の誘致、文化財の保存・修復に係る団体・企業の誘致、地域交流として、観光、農産品販売・加工、伝統工芸の展示・即売等、各分野と連携し、複合的に整備をしていける。(市長)

Q 地方創生の観点から観光振興、福祉、まちづくり等の波及効果の期待は大だが、事業費の金額や予算はどれくらいか。市長がイメージされている国際芸術家村は。

A 基本構想から計画への段階で現時点では情報はまったく持っていない。今後、大学、参考館、周辺スポーツ施設との連携等、会議に参加し、発言していく。(市長)

人事と就労について

Q 利潤を求める民間企業に対し、公的なサービスの充実・向上を目指す行政。市長の人事と就労についての考え方は。

A まち全体、市民に喜んでいただく原点に立ち、職員自身の専門性や強みをチーム全体

で活かしていく。行政サービスの質を落とさず、市民の満足度を高めるため、人事育成基本計画を含め、能力を高め自己研鑽に取り組める環境をもつ。ノー残業デーの実施、年次有給休暇や育児休業等の利用促進、子育て支援制度の周知も一層強めていきたい。(市長)

まちづくり計画について

Q 地方自治のあり方は時代とともに変わりつつあり、住民自治を中心として、県、市町村、民間団体間の連携と協働が不可欠。天理市を、「住みたい、働きたい、訪れたい」というまちにするための創意工夫が発展の鍵だと思ふが。

A 県市連携を重視し、産官学に加え、金労言等の分野の方々にも参加いただいた協議会や、戦略策定の会議も積み重ねている。人口減少や少子高齢化に伴い、集約型の都市形成を目指した維持、保存、改善を主体としたコンパクトなまちづくり計画を図っていく。(市長)

Q 市は3地区、天理駅前周辺地区、朝和・柳本校区の南部地区、福祉校区の高原地区で基本協定を締結された。その中の南部地区のまちづくりについて、柳本校区は福祉校区に次ぐ高齢化のまち。将来たくさん観光客が来られたときに対応できる人たちを増やすことも大切。その方法として、都市計画の見直しも必要だと思う。人口が増えてこそ、店もでき雇用も発生すると思うが、市長の考えは。

A 条件を満たせば、開発や建築行為が可能となる地区計画や50戸連担区域活用等に対応していきたいと考える。(市長)

要望 岩手でオガールプロジェクトが成功。理由は行政が信念を持って、労を惜しまず、住民情報を徹底的にオープンし、理解を求め「住み続けてよいまち」にしようとして努力したからである。本市も持続的に発展し続けていくまちを目標に、ともに頑張っていく。



仲西 敏 議員
(一問一答)

教育の諸課題について

Q 教育大綱への思いをお尋ねします。

A 教育大綱は、地方教育行政の責任を明確化し、首長との連携強化を図るもので、天理市まち・ひと・しごと創生総合戦略との連携を重視して策定。地方創生の観点から、地域資源を生かした教育、地域参加の学校づくりを進めます。(市長)

Q 市長は施政方針で、行政サービスの基礎が急速に変わり、コミュニティが崩壊の危機で非常事態と認識。また、少子化で学校の存続も危うい。行政サービスは低下せず、施設の統合は難題。危機感を踏まえ、取組をお尋ねします。

A 前栽小の地域交流拠点も兼ねた学習環境を整備後、山の辺小体育館整備も予定しており、施設の維持管理は非常に難しくなる中で、地域のきずなをつなぐこと、施設運営管理や空間の統合などの課題に、地域や学校、保護者等と議論して進めます。

Q 中教審で注目の、学習方法のアクティブラーニングの見解をお尋ねします。(市長)

A アクティブラーニングは、児童生徒が主体的に仲間と課題解決する力を養う学習、ICT等の活用を進め、子どもたちの主体的な学びを実現します。(教育長)

Q 教職員の負担解消について、その後の取組状況をお尋ねします。

A 先進地事例も調査研究し、学校のルールづくりを進めます。また、校務支援シス

テムの導入も有効で、教員の事務負担の軽減も図れます。(教育長)

安全・安否のまちづくりについて

Q 熊本地震の教訓をお尋ねします。

A 地震被災や行政対応を教訓に災害対策は非常に重要です。熊本地震は、震度7が2回発生し余震が長期間続き想定を超えました。関西大学の河田恵昭教授は、「熊本、大分は複数の活断層帯が束で存在。奈良盆地東縁断層帯は南北1本の縦軸で、熊本とは異なる断層帯」との所見。行政対策の第1段階で、地震発生から72時間は命を守る救援救護に全力傾注。第2段階で、避難所への物資供給や避難生活を維持し、復旧復興へ。こうした時間軸に沿った優先課題の定めが必要です。また、市役所業務を円滑に継続するため、資源確保や執行体制を整備し、業務継続計画も策定します。(市長)

Q 市民が出来ることを行うことは非常に重要。市長の見解をお聞きます。

A 救援物資が届くまで、最低3日間の水や食料を準備いただきたい。家具等の転倒なども啓発を進めます。(市長)

Q 犯罪状況と対策をお尋ねします。

A 本市の刑法犯認知件数は平成27年末618件で、主な犯罪はオートバイ盗など窃盗罪です。防犯対策は、登録者に防犯情報配信「eメール天理」、通学路の見守りボランティアなど、防犯カメラを昨年度7つの小学校、5つの駅に設置、今年度も学校や公園等に設置を進めます。(総務部長)

天理市史編さんについて

Q 「天理市史」の取組をお尋ねします。

A 天理市史は、市民と行政が共に活用できる貴重な財産、今後、市民が郷土の歴史を掘り起こし、活用していただくことが重要、地域住民が地元の歴史を受け継ぐ取組を行政も共に進めます。(市長)



鳥山 淳一 議員
(一問一答)

子どもの読書活動の推進に関して

Q 読書は言葉、感性、表現力、想像力、生きる力の原動力で、国、県も子ども読書活動推進計画を策定している。学力向上の点から読書教育の活性化、活動推進の取組と課題は。

A 市の推進計画の柱は、家庭・地域・学校・図書館等での読書活動の推進、施設・設備等諸条件の整備充実、読書に関する理解と支援の充実とし、小中学校では指導計画を作成し推進している。市立図書館ではおはなし会開催や語り手派遣、小学生を対象にした「読書手帳」を配布しており、貸し出し冊数は徐々に増加しているので、継続して推進する。(教育長)

Q 学校で図書館教育に携わる学校司書の配置は、平成24年全国小中平均47%と進んでいる。本市学校図書室の人的環境整備や冊数の達成状況は。

A 平成24年から学校図書館整備5カ年計画で、図書標準数の達成、新聞配備、学校司書の設置の3つを挙げ、地方交付税措置の算定基準に入っているが、財源措置としての補助金制度ではない。司書教諭の資格を持つ教師で管理をしており、専門の学校司書は配置されていないが、新たな試みとして、学校図書担当者と市立図書館司書との連携推進で図書館教育担当者会議の開催を予定している。図書ボランティアは学校・

地域パートナーシップ事業等との連携の検証を進める。(教育長)

Q 学校司書配置市町村は、五條市、生駒市、葛城市、生駒郡全町及び広陵町が非常勤で配置し、奈良市は市立図書館司書が巡回配置という形でモデル的に実施。(五條市は図書支援員)

要望 本の値段が上がっているので図書配当予算の見直しをお願いする。図書室の活性、読書活動推進に支援をお願いしたい。

市の子育て支援と読書活動推進について

Q すこやかホールをたくさん小さなお子さんと保護者の方が居場所にしていただけます。すこやかホールの現状と子育て支援としての読書環境は。

A まち・ひと・しごと創生総合戦略で読書活動の推進を重要な要素と位置付け、昨年地方創生交付金で幼児の絵本購入券等を配付、メディアカルセンター1・2階にキッズコーナーを設置し、絵本と触れ合う場所を提供している。今年度は、保健センター1階を、地方創生加速化交付金活用で「子育て世代すこやか支援センター」開所準備を進め、このセンターを拠点として常駐の保育士により絵本の読み聞かせや絵本の貸し出しを検討していく。様々な民間の方との連携も深め、子育ての中で親と子のコミュニケーション育成の充実に努めたい。

要望 すこやかホールで若いお母さんから「こんな場所がたくさんあったらいいな」という声を聞いている。子育て支援の場所を更に充実させ、駅近くに子育て支援の場も考えて欲しい。また、幼稚園の就園率が大変な努力がある中で下がっている。利便性、交通の便も考え、同じ施設で保育所機能と幼稚園の機能を使えることも園を市内に1カ所か2カ所検討いただきたい。



寺井 正則 議員
(一問一答)

障害者差別解消法の運用について

Q 対応要領の策定や市民への周知をどのように推進していくのか。また、社会的障壁の除去（車いす用のスロープの設置、筆談や読み上げ、手話や点字による表示など）に、どのように取り組んでいけるのか。

A 対応要領の策定のために、関係者の意見を聞きながら、県障害福祉都市連絡協議会とも連携して対応を検討していきます。

4月1日号の広報紙「町から町へ」に障害者差別解消法が施行される旨のお知らせと相談窓口の案内をしました。今後も、広報紙やホームページで周知を図っていきます。法施行により合理的配慮がより一層求められる中、障害者の多種多様な意向を尊重し、意識のバリアフリー化を進めながら、社会的障壁の除去に取り組んでいきます。

Q 1日の平均利用者が3千人を超える駅については、原則として平成32年度末までにバリアフリー化が必要であるとされていますが、本市における鉄道駅者のバリアフリーの現状は。

A 本市ではJR天理駅と近鉄前栽駅が該当し、また利用者数1万人以上の駅では近鉄天理駅が該当しています。法の趣旨に基づき、バリアフリー化に向けて近鉄と協議を行っています。引き続き実施に向けた協議を行っていきます。

(市長)

食品ロスの削減について

Q 教育施設における学校給食の残食の現状や、食品ロス削減に向けての取組を進めることについての考えは。

A 市内の小中学校では、毎日約4千500食の給食を実施しており、その約5%弱が残食となっています。食品ロスの削減のために、各学校における食育の推進や給食を提供する側で工夫しています。

(教育長)

A 「家庭ごみ分別の手引き」の裏表紙に「もったいないですね」と題して啓発記事に掲載しています。来年度は、この冊子をリニューアルする予定で、内容や表現方法の見直しも検討中です。また、個々の飲食店については、直接的な市の関与は難しいかもしれませんが、まずは広報誌やHPで市民にPRしていきます。

(市長)

お薬手帳の電子化について

Q 厚労省では、利便性の向上とお薬手帳の電子化を推進するため、標準仕様を検討する事になっていますが、通院する市民の利便性向上のために、お薬手帳のスマートフォンアプリを推進してはどうか。

A 今年度からの診療報酬の改定により、調剤薬局でお薬手帳を提示しないと薬の料金に影響する場合があります。アプリの利用は、薬の予約で調剤薬局での待ち時間の軽減や、紙ベースの手帳の持ち歩きの不便さを解消等、子育て中の保護者には特に便利なものとなっています。今後は、天理地区の医師会や薬剤師会等と連携して、アプリの利便性向上の状況を注視しながら、その普及・啓発に努めると共に、薬による副作用等を防止していくためにも、お薬手帳の意義や重要性について啓発をしていきます。

(市長)

障害者福祉について



三橋 保長 議員
(一問一答)

Q 手話の普及については、天理教も、天理市議会も、非常に先駆的な取り組みをしてきた。「手話言語法」制定を求める意見書を探択し2年が経過したが、今後の取り組みは。

A 手話が言語であるという認識に基づき、手話を使って安心して暮らすことができる社会を早期に構築するため、検討の委員会を速やかに立ち上げ、本年度中の制定に向けて着手していきたい。

(市長)

Q 昨年の3月定例会で、請願が提出された精神障害者の医療費助成制度の対象者の2級までの拡充についてその後の進捗状況は。

A 請願書が全会一致で採択されたことを重く受け止め、平成27年の4月から、まず1級所持者のみ実施した。本年4月時点で精査した結果、1級、2級の合計で、市の負担は約1千400万円前後と試算をした。来年度より拡充したい。

(市長)

にぎわいをつくる天理の観光資源の活用について

Q 天理駅の西側に昭和46年に、D51型機関車と、オハ61という客車ついで、全国的にも珍しい形で展示された。来年の3月に駅前広場が完成するが有効な活用は。

A 観光案内パンフレット等にも積極的にPRをし、案内看板の設置も含め客車内も見学や学習の場として検討したい。今年度の光の祭典を天理駅西側のにぎわいをつくるべくパイロットプロジェクトとして捉え、来年以降につなげていきたい。

Q 天理市は大量に埋蔵物があるが、それを総合的に展示するような施設がないのが本当に残念である。市の考え方は。

A 文化財の展示は、文化センターで、夏と冬の年2回、発掘調査の展示会を開催し、発掘担当者による講演や展示解説を行い好評を得ている。今後も、市役所1階展示ホールや黒塚古墳展示館等の施設の有効活用を図ると共に、県が計画している国際芸術家村構想との連携も考えていきたい。

(市長)

Q 家庭に眠っている考古遺物の相談窓口を開設すれば、掘り出し物も出てくる可能性がある。天理ならではの相談窓口をつくることは。

A 現時点での体制で、考古遺物について、毎年1、2件の問い合わせがあるが、十分な広報活動はしていない。改めて相談体制を整備して、発信していきたい。個人と市が所有する文化財の共同展示会を開催する行事も検討していきたい。

(市長)

Q 古墳を発信源としたパンフレットや、ガイドブックをつくってほしい。県下1番の古墳を持つ天理市の観光のきっかけづくりになるが。

A 「天理の古墳100」は、学術的な冊子として販売している。観光DVDも古墳群の映像を盛り込み、積極的にPRしている。本年度は、天理・桜井・磯城郡と連携し、大和地域連携推進協議会を設立し、県の支援も受けながら、「ヤマト歴史読本」の制作を計画している。1万部を予定し、全国の書店で販売され、今後の周遊観光へとつなげていきたい。

(環境経済部長)

公民館運営について



市本 貴志 議員
(一問一答)

公民館運営に関しましては、教育委員会
の所管であることを承知いたしております
が、公共施設の有効活用、国が進める
地方創生も含んだ上での質問であると御
理解をいただき、教育委員会のみならず、
行政部局のリーダーシップを発揮してい
ただきたく、よろしく願っています。

Q 市民協働の仕組みを改めて見直し、
多彩な人々が集い、諸問題に取り組んで
いく「共創の場」を發展させていくこと
が必要です。社会教育法の運用に矛盾や
疑問点を感じているか否か認識をお聞き
いたします。

A 公民館運営について、公共性を確保
するための規定がありますが、幅広い市
民の皆さんに活用していただける施設で
あり続けるためにも、まちづくり全体の
中で、多世代交流や活性化の拠点として
改めて位置付けていくことが重要である
と考えております。

Q 少子高齢化、空き家や耕作放棄地の
増加による各地域の存続が危ぶまれている
のも現実です。地方の再生は、地域住
民が自治的な活動を通して自らの地域課
題を解決していく場が必要です。特に山
田町は、虫おくりでありますとか観月会
など文化的行事や、町の運動会を公民館

の校庭で行われるなど、こういう活動で
そがスタンダードといってもよいのでは
ないでしょうか。自然あふれる山間地域
は、観光の観点からも、「交流人口の拠
点としての休憩所」でありますとか、清
流が育むおいしい農産物を生かした「お
もてなしとしての拠点」として地域需要
が望まれております。高齢化率が高く、
高齢者福祉の観点からも、ふれあいサロ
ンなどの充実をさせる「世代間交流の拠
点」としても大切です。地域の特性を生
かしたまちづくりには欠かせない問題だ
と認識をしております、高原地区での対応を
ぜひともお願いしたい。

A 議員御指摘の点につきましては、私
どもとしても、完全に認識を共有させて
いたきたいというふうに申し上げます
と存じます。地元の愛着があるすばらしい
建物を地域の魅力づくり、にぎわいつ
くりのために地域の皆様に御活用いた
だくことは、今後の高原地区における活
性化においても非常に重要なポイントであ
ると認識をしております。行政としても
活性化のために、「特産品の販売」を行っ
たり、あるいは来訪者に対して、「もて
なしの拠点」として山田公民館を使用す
ることは、現行法上においても何ら問題
のない、可能であると考えております。
むしろ地域住民の皆さんの生きがいづく
りや高原地区の魅力発信による定住促進
にもつながっていくことから、地方創生
の流れにおいても、積極的に推進してい
くべき活動であると認識をしております
と。今後は、各公民館の地域性や、
特色等を十分勘案した上で、公民館が地
域の新たな拠点として活用できるような
柔軟な対応を図ってまいりたいと考えて
おります。

(市長)



こんなことが決まりました

全員賛成で可決した議案

- | | |
|-----|---|
| 報 告 | <ul style="list-style-type: none"> 27年度繰越明許費繰越計算書 27年度水道事業会計予算繰越計算書 27年度下水道事業会計予算繰越計算書 出資法人の経営状況の報告 損害賠償の専決処分の報告 |
| 諮問案 | <ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること |
| 同意案 | <ul style="list-style-type: none"> 公平委員会の委員の選任につき同意を求めること 固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めること |
| 議 案 | <ul style="list-style-type: none"> 28年度一般会計補正予算 市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正 印鑑条例及び手数料条例の一部改正 財産の無償貸付け |
| 決議案 | <ul style="list-style-type: none"> 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書 保育所の待機児問題の抜本的な解決を求める意見書 |



名阪国道天理IC側道を
現場視察
名阪国道天理IC側道
整備事業について、進捗
状況を確認するため、経
済産業委員会終了後、委
員全員による現場視察を
行いました。

意見書

次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書

本平成27年6月30日に閣議決定された「骨太の方針」の中で、次期介護保険制度改正に向けて、軽度者に対する福祉用具貸与等の給付の見直しを検討することが盛り込まれました。現行の介護保険制度による福祉用具、住宅改修のサービスは、高齢者自身の自立意欲を高め、介護者の負担軽減を図るという極めて重要な役割を果たしています。

例えば、手すりや歩行器などの軽度者向け福祉用具は、転倒、骨折予防や自立した生活の継続を実現し、重度化を防ぎ遅らせることに役立っています。また、安全な外出機会を保障することによって、特に一人暮らしの高齢者のとじこもりを防ぎ、社会生活の維持につながっています。

仮に軽度者に対する福祉用具、住宅改修の利用が原則自己負担になれば、特に低所得世帯等弱者の切り捨てになりかねず、また、福祉用具、住宅改修の利用が抑制され重度化が進展し、結果として介護保険給付の適正化という目的に反して高齢者の自律的な生活を阻害し給付費が増大するおそれがあります。

以上の理由から次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から検討を行うことを強く求めます。

保育所の待機児問題の抜本的な解決を求める意見書

保育問題が、国政の重大課題になっています。希望しても認可保育所に入れない子どもが続出している中で「保育園に落ちたの私だ」という運動が日本中に広がりました。

問題の所在がどこにあるかという点、ひとつは、「認可保育所が決定的に足りない」ということ、もうひとつは「保育士の労働条件が劣悪なため、保育士が不足している」ということです。

ところが政府の対策はこの根本解決に背を向けて、いっそうの規制緩和と詰め込み、保育内容の切り下げを行おうというもので、公的責任を放棄するものです。

認可保育所の増設をはじめ、国と自治体が保育への公的責任を果たすことを強く求められています。今日の事態を解決するためには、「認可保育所の増設」と「保育士の賃上げなど労働条件改善」という問題の根本的な対策を緊急に行うことが必要です。

待機児問題の解決は、認可保育所を緊急に増設することを大原則にして、30万人分、約3000カ所の認可保育所を緊急に増設することです。当面の緊急対策は認可保育所が建設されるまでの間の「一時的な措置」であること、保育士の配置など「保育の質」を確保することを明確にする必要があります。

保育士の低賃金は、国の基準が低すぎることによってもたらされています。認可保育所の運営費、いわゆる「公定価格」を算出する際の人件費が低すぎるのが、全産業平均より月約10万円も賃金が低い事態をつくりだし、保育士不足の最大の原因となっています。国の基準を直ちに見直すべきです。保育士の配置基準が実情に見合わないために、賃金を国の基準よりさらに下げて保育士やパートを配置しているために、いっそうの低賃金をつくりだしています。保育士の賃上げと配置基準の引き上げが必要です。以上のことから、以下の緊急対策を強く求めます。

- (1) 保育所待機児童問題は、認可保育所の増設で解決することを原則として確立し、30万人分（3000カ所）の認可保育所を緊急に増設すること。
- (2) 保育士の賃上げと、保育士配置基準の引き上げという二つの方向で待遇改善のために国の基準を引き上げること。

議会改革推進委員会を設置

昨年度に引き続き、議会運営の充実と議会改革の更なる推進に向けて様々な課題に取り組むため、平成28年6月14日「議会改革推進委員会（9名）」を設置し、7月4日に第1回委員会を開催しました。

案件については、

- 1、議会報告会について
 - 2、政務活動費について
 - 3、議員定数について
 - 4、議員報酬について
- となっています。

議会改革推進委員会名簿

（◎委員長 ○副委員長）

◎ 榎 堀
○ 市 本
◎ 飯 田
○ 寺 田
◎ 大 井
○ 中 橋
◎ 東 田
○ 市 井
◎ 堀 佳
○ 堀 秀
◎ 飯 貴
○ 寺 匡
◎ 大 正
○ 中 基
◎ 東 和
○ 市 正
◎ 堀 志
○ 市 弘
◎ 堀 照
○ 堀 樹
◎ 飯 一
○ 寺 喜
◎ 大 之
○ 中 則
◎ 東 男
○ 市 弘
◎ 堀 志
○ 堀 照
◎ 飯 樹
○ 寺 樹
◎ 大 樹
○ 中 樹
◎ 東 樹
○ 市 樹
◎ 堀 樹
○ 堀 樹

平成28年第3回天理市議会定例会 本会議・委員会日程

- 9月6日(火)
9時30分 議会運営委員会
11時00分 本会議開会
- 9月8日(木)
9時30分 議会運営委員会
11時00分 本会議再開
- 9月9日(金) 9時30分 文教厚生委員会
- 9月12日(月) 9時30分 経済産業委員会
- 9月13日(火) 9時30分 総務財政委員会
- 9月14日(水) 9時30分 決算特別委員会
- 9月15日(木) 9時30分 決算特別委員会
- 9月20日(火)
9時00分 議会運営委員会
10時00分 本会議再開 ※一般質問
- 9月21日(水)
10時00分 本会議再開 ※一般質問
- 9月26日(月)
9時30分 議会運営委員会
11時00分 本会議再開

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
		本会議 11:00		本会議 11:00	文教 9:30	
11	12	13	14	15	16	17
	経済 9:30	総務 9:30	決算 9:30	決算 9:30		
18	19	20	21	22	23	24
		本会議 10:00	本会議 10:00			
25	26	27	28	29	30	
	本会議 11:00	(会期)				

※会 期=9月27日(火)までの22日間

編集後記

2016年はうるう年で、全国的に災害の多い年なのか、4月14日21時26分熊本県熊本地方を震源とする気象庁発表のM6.5の地震が発生し、熊本県益城町で震度7を観測しました。この地震により、多くの家屋の倒壊や死者が出ました。その28時間後、4月16日1時25分には同じく熊本地方で震度7の地震が発生しました。熊本県西原村と益城町は、2度の地震による家屋の倒壊で、多くの犠牲者が出ました。その後、余震が1カ月以上続き、震災復興・仮設住宅の遅れが出ており、いまだに避難生活をされている方もおられます。1日も早くもとの生活ができますようにと願います。天理市議会も行政とともに市内の危険な箇所を調査し、災害に強い天理市を目指し、安全・安心のまちづくりに取り組んでいきます。

(東田匡弘)

議会広報編集委員会

- | | | | |
|------|--------|----|-------|
| 委員長 | 飯田 和男 | 委員 | 廣井 洋司 |
| 副委員長 | 堀田 佳照 | 委員 | 東田 匡弘 |
| 委員 | 加藤 嘉久次 | 委員 | 仲西 敏 |